

地域における高齢者のいきがいおよび QOL を含めた生活支援に関する包括的研究
調査事業
社会福祉法人 仁至会 （報告書 A 4 版 1 頁）

事業目的

認知症高齢者に関しても、早期発見により予防的介入を行えば、自立度低下を遅らせることが可能である。また、認知機能に関連する要因や予防対策の評価に関して、地域在住の高齢者の実態把握が重要であり、生活実態、認知機能、食習慣やQOLを含めた包括的なデータの蓄積が必要である。

さらに、地域で生活するのに欠かせないと同時に高齢者のいきがいともなっている自動車運転に関して、認知症ドライバーの運転能力の評価と、安全運転教育への活用について検討する。

事業概要

1. 地域在住高齢者の4年間の縦断調査の結果の解析（慢性疾患とQOLに関して）
2. ドライブ・レコーダーを用いた日常運転から見た認知症の運転特性を解析
3. 報告書の作成

事業結果

2002年および2006年に、愛知県大府市の高齢者に対する生活実態調査の縦断調査を行い、さらに電話で行える認知機能スクリーニングを開発し、認知機能低下者の把握が可能であることを明らかにした。高齢者の認知機能とQOLの関連性についても報告した。これらを踏まえて、地域における高齢者の生活実態、認知機能、食習慣、QOL、慢性疾患の有無等を含めた多項目にわたる、4年間の総合的な縦断調査の結果を解析した。

認知症を含む高齢者の運転に関して、介護福祉関係者や一般の人への、知識普及を図った。高齢者及び認知症のドライバーを対象にドライブレコーダーを用いた運転特性の検証を行なった。この結果は、高齢者を対象とした安全運転教育プログラムの開発における基盤となるデータとなった。

事業実施機関

認知症介護研究・研修大府センター

〒 474-0037 愛知県大府市半月町三丁目 2 9 4 番地

TEL 0562-44-5551